

みしま 議会だより

No.007

発行
令和3年
11月

9月定例会報告

もくじ

特集…令和2年度決算報告……………2

9月定例会報告

『9月定例会の紹介』……………4

『9月定例会の一般質問』……………25

特集…令和2年度決算報告

特集のテーマは令和2年度決算です。今回の決算はコロナの影響で赤字が出ました。赤字は大きくなると住民の生活にも負担が生じます。赤字について考える良い機会ですので、実際に財政破綻した自治体の事例も交えながら少し掘り下げて紹介します。



硫黄島 黒木の御所にて『九月踊り』の風景

特集.. 令和2年度決算報告

令和2年度、新型コロナウイルス感染症の影響で三島村は赤字決算となりました。行政運営は税金で成り立つので民間企業のように倒産しないから大丈夫、と思いがちですが、

運営がうまくなければ財政破綻します。

実際に北海道の夕張市は、2007年に353億円の赤字を抱えて財政破綻しました。

Q 赤字となった理由は？

A 新型コロナウイルスの影響で予定していた入金がなくなっただけのため

新型コロナウイルス感染症により旧船フェリーの受け渡しができず、売買契約がキャンセルとなりました。予定していた売却金が入ってこなかったため赤字となりました。

【表1】 参照

赤字分は補助金で今年度県から補填される予定で、村の行政運営に支障が出ないよう手続きが進められています。

Q 赤字になったらどうなるの？

A 国や県と共に財政の健全化を図ります。

歳入より歳出が多くなると赤字になります。自治体の場合、赤字が国の定める基準を超えると注意を促がされ（イエローカード）、さらにひどくなると破綻した（レッドカード）とみなされます。

国は、自治体の会計の状況を判定するために『財政健全化判断比率』として、4つの指標を設けています。

【表2】 参照 各自治体は、この4つの指標にならって財政の健全度を算定し、毎年議会に報告する義務があります。

『豆知識』

【財政健全化判断比率とは】 会計の状

自治体の予算は無限ではなく、どうやって収入を増やして、無駄を省いてゆか住民も意識していくことが必要です。三島村の令和2年度決算で財政の現状を紹介しながら「赤字になるとどうなるの？」という疑問にも触れていきます。

況を評価するための指標で、以下4つの指標で構成されます。

① 実質赤字比率

一般会計の赤字がどのくらいあるか

② 連結実質赤字比率

会計全体の赤字がどのくらいあるか

③ 実質公債費比率

借金返済額がどのくらいあるか

④ 将来負担比率

将来一般会計などで返済する金額がどのくらいあるか

また、他に会計ごとの経営状態を判断する『資金不足比率』という指標もあります。

【資金不足比率とは】 資金不足の程度で、自治体の会計ごとの経営状態を判断する指標。20%を超えると、経営健全化計画の策定が義務付けられ、

経営の健全化が求められます。

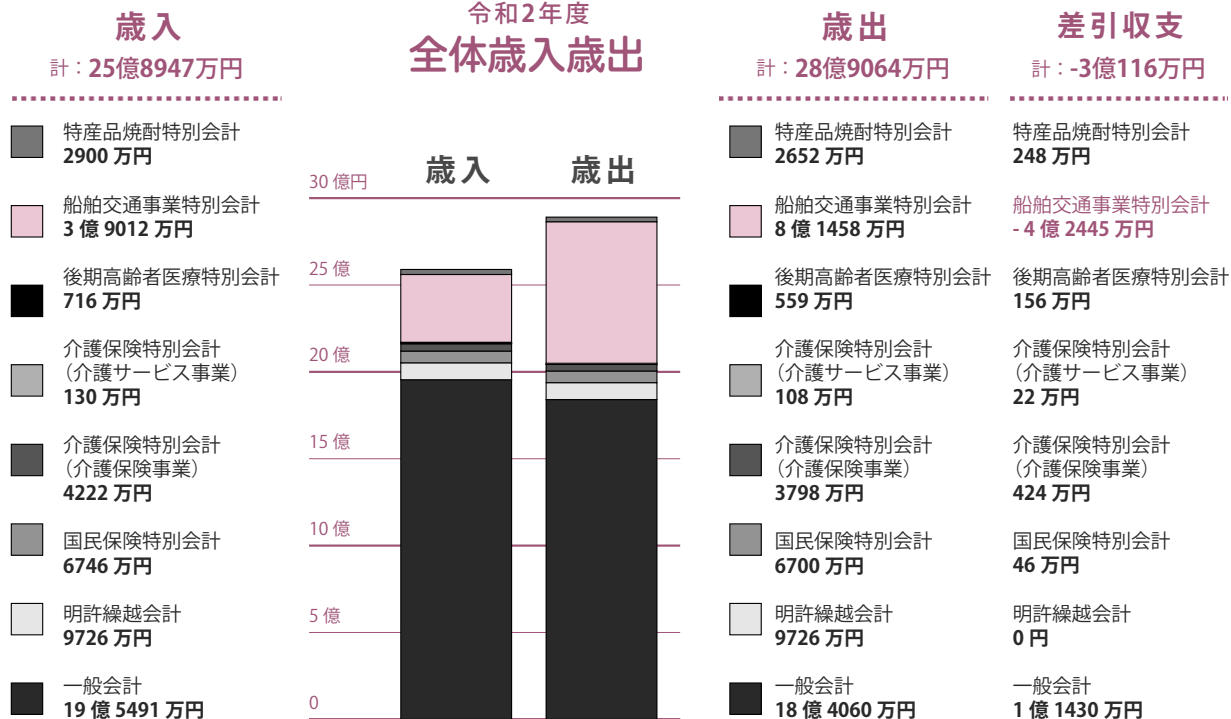
『イエローカード』になった自治体は、「早期健全化団体」となり、「財政健全化計画」の策定と外部からの監査が義務付けられます。健全化が困難な状況の場合には、総務大臣や知事からの勧告を受けることがあります。

『レッドカード』になった自治体は、「財政再生団体」となり、「財政再生計画」の策定が義務付けられます。国に管理されながら、自治体の抱えた借金を住民が返済することとなります。

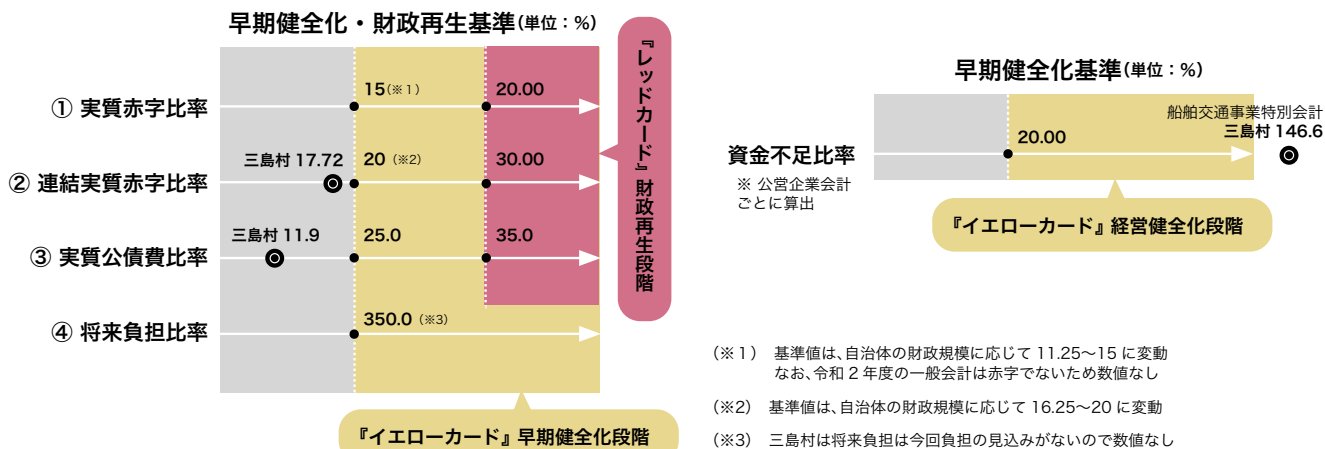
夕張市では財政破綻後、行政サービスの料金が高くなり、役所職員も大幅に削減、給料も大幅にカット。人員不足でサービスの質も低下し、「全国で最高の負担、最低の行政サービス」と言われるようになってしまいました。

破綻した2007年には約1万2千人だった人口が、現在では約7千人と人口が減少し続けて

【表1】
令和2年度
全体歳入歳出



【表2】財政健全化判断比率



ただ、三島村では令和3年度で国民健康保険の積立金が少なくなり、県の指導で保険料が上がりました。このように行政運営を見直していかなければ、住民の負担が大きくなっていきます。行政・議会・住民が一体となって住みやすい三島村にしていきたいと思います。

船舶交通事業特別会計は資金不足比率がイエローカードの基準である20%を大きく超えています。翌年度、つまり令和3年度に資金不足が解消されますので、その場合は計画を策定する必要はありません。

【表2】の通り、三島村全体の財政はイエローカードの基準を下回り、現状は「健全」と判断されます。

A 現状は健全です

Q 三島村は大丈夫？

います。また、重要な資金源である「地方債」を使いたい場合、総務大臣の同意が必要になります。(災害対策以外)

『9月定例会の紹介』

9月定例会では、昨年度の決算が行われ、議会は決算書の認定を求められます。ここで議会は行政が予算を正しく使ったかチェックします。予算と違って認定しなくても行政運営への直接的な効力はありません。ただ、お金の使い道を行政と議論して、

今後の予算組みに活かします。

なお、決算が終わると、行政は来年度の予算を11月後半から作成し始めます。そのため9月から10月は、村政への要望を、来年度予算に組み込んでもらいたいというタイミングとなります。

を使うことが妥当か、また今後への影響は？

総務課長 減債基金の利用は問題ない。今後の財政へ影響がない範囲で繰入をした。



日高重行 議員
『土砂流入の原因究明について』 大里港に大量の

砂が堆積した原因を分析しないと、また同様のことが起こり、その度に莫大な費用がかかるが、今後の対応の予定は？

経済課長 調査する必要があると考えている。

村長 硫黄島の砂浜の砂がどんどん減って石だらけになっている。海亀の産卵場所にもなっており、県



山崎晋作 議員
『減債基金の繰入について』 工事をするために借金を返済するための積立（減債基金）を繰入れているが、この基金

承認第34号
令和3年度竹島港改修工事の工事請負契約

【契約】

【概要】・竹島港の沖防波堤工事
・契約金額：7554万円
・工期：令和4年1月15日まで

【討論】なし

【議決・採決】 賛成 5 反対 0
(専決処分)

【質疑】なし

承認第35号
令和3年度三島村一般会計補正予算(第5号)

【補正予算】

【概要】< 補正額：+1100 万円 >
財源内訳
・自主財源 1100 万円（減債基金から繰入）

主な使い道
・大里港の海底土砂の除去工事
(土砂の堆積により、フェリーの船底が当たってしまったため)

【討論】なし

【議決・採決】 賛成 5 反対 0 (専決処分)

【質疑】

山崎晋作 議員

『減債基金の繰入について』

工事をするために借金を返済するための積立（減債基金）を繰入れているが、この基金



に原因究明を訴えた。県も調査をし対策を講じているが、解決に至っていない。非常に複雑で難しいが、引き続き県に対応をお願いしたい。同様に大里港についても調査が必要なので対応していきたい。



谷口伸二 議員
『海底調査について』 以前十島村の港で事故があつた時、一般質問で三島村の危険性について調査の必要性を訴え、大里港で大規模な浚渫工事が行われた。それから年に一度くらいは海底調査を行わなかったのか。

経済課長 年に一度の測量調査は行っており、その時点ではギリギリ大丈夫だと判断した。

谷口伸二 議員 実際危険な状況になったので、今後はギリギリはアウトだと判断して欲しい。

【補正予算】

【概要】< 補正額：+213 万円 >
財源内訳
・依存財源 200 万円（地方交付税）
・自主財源 13 万円（ジャンベの郷基金から繰入）

主な使い道
・家屋購入費（硫黄島）200 万円
・ママディ＝ケイタ氏死去に伴う寄付金 13 万円

【討論】なし

【議決・採決】 賛成 5 反対 0 (専決処分)

【質疑】



山崎晋作 議員

『家屋の購入について』

家屋の購入金額の算出
方法や算定基準（固定資産税評価
額など）は？

総務課長 固定資産税評価額を

1・4倍して算定している。

土地の面積222・66㎡

土地の評価額…39万円

土地の購入額…54万円

家屋の床面積…70・97㎡

家屋の評価額…107万円

家屋の購入額…150万

200万円をオーバーした部分は
個人が負担する移転登記にかかる
費用分を引いた。

山崎晋作 議員 この物件の登記や

支払いはどうなっているか。

総務課長 手続き中なので、終わ
り次第契約して購入予定。

承認第36号

令和2年度大里港改修工事の工事
請負変更契約

【契約変更】

【概要】・工事期間の延長
令和3年10月11日迄
(+73日間)

【討論】なし

【議決・採決】
賛成5 反対0
(専決処分)

【質疑】



谷口伸二 議員

『工期について』三度目

の工期延長となるが、今
回は工期内に完了できるのか？

経済課長 事業者にはこれ以上延

期できないと伝えており、工期内
に終了する努力をすると返答をも
らっている。

議案第22号

権利の放棄について

【債権放棄】

【概要】

- ・転出者2名の村営住宅
使用料滞納金の債権放棄
- ・債権額 43万円

【討論】なし

【議決・採決】
賛成5 反対0

【質疑】なし

議案第23号

三島村過疎地域持続的発展計画の
策定

【計画の策定】

【概要】

- ・過疎地域が持続的に発展
するために有利な制度を受
けるための計画
- ・令和3年度～
令和7年度の5ヵ年計画

【討論】あり（左記の通り）

【議決・採決】 賛成3 反対2

【討論】

【反対】山崎晋作 議員 計画策定

にあたり国から示されている「地
域住民との合意形成」が図られて
いないため。重要な計画なので、
合意形成を図った上で再度審議す
べき。

【賛成】日高重行 議員 問題が生

じたらその都度議会の承認を持っ
て検討できるとのことだったため。

【質疑】



山崎晋作 議員

『1.焼耐事業について』

「産業振興に大きく寄与
する取り組みとなっている」と記
載されているが、現状では売り上
げが伸び悩んでいる。「コロナの影
響で売上が落ち込んでいる」とあ
るが、以前の議会でデータを提示

してもらい、相関関係は見られな
いことも明らかになった。公共事
業だとはいえ、赤字になれば財政
を圧迫する。経営を軌道に乗せる
ために冷静な分析、判断が必要だ
がどう考えているか。

定住促進課長 特産品焼耐特別会

計の決算の場で説明させて頂く。

山崎晋作 議員

今回聞きたかった
のは、焼耐事業が軌道に乗ってい
る前提で計画がされているようだ
が、実際はそうではないことを理
解して進められているのかどうか。

定住促進課長 ご指摘の通り売上

が伸びない状況だが、県の支援も
受けながら自立できるように取り
組んでいる。新たな雇用3名、パ
ートも延べ人数で20名ほどの方に
参加していただき、一定の経済効果
は出ている。

山崎晋作 議員

『2.1日1便・枕崎航路の計画
について』

施策を掲げて十数年経
っており、週3便から4便に増え

た経緯もあるが、この計画を進める具体的な根拠が示せるか。財政への影響、職員の負担といった面は？枕崎航路は以前運航していたが、再度運航させるほど利用者がいたのか。当時は宿泊費補助や補助金を準備するから青年会のイベントを枕崎でやつてくれという役場からの要請があつたりして利用者を増やしていた。本当に村がよくするための施策なのか。

総務課長 1日1便は必要だと考えている。根拠は、南薩地域との交流・枕崎での病院・買い物などを含めて、本土へ繋がる回数が増えれば島民の利便性が確実に上がる。国や県の補助がありながら現在実現していないのは、港の確保ができていないため。財政については、国に認められれば職員増員による人件費も含めて補填してもらえ

ため、村に負担はない。



山崎晋作 議員

枕崎航路についていろんな人とお話をしたが、必要性を感じているという声は聞かなかった。

実現のためにやり方を工夫しチャレンジすることは大事だが、現実問題としてうまくいっていないかった。再度やるのであれば、前回の反省点を踏まえて具体的な改善案もないと同じことの繰り返し。それがないのであれば計画に載せるべきではない。

総務課長 計画に載せるべきではないとのことだが、南薩方面から団体で島に行きたいという声もあり、民宿の利益にもなる。急病などの際、枕崎の病院や大きな病院に行けるようになるので必要だと考えている。

山崎晋作 議員 単純に計画に反対しているのではなく、枕崎航路は一度失敗しているのだから改善策が必要だという主旨で発言している。南薩から乗りたい人がいるとのことだが、ではそれが何人なのか。10人くらいなら航路を再開するべきではない。病院の心配は確にあるが、急病の対応は1日1便でも厳しい。みしま2やドクターヘリを主として考えるべき。

山崎晋作 議員

『3. 定住促進対策事業について』移住者の50%が定着しているということだが、Iターン・Uターン者の割合は？

定住促進課長

Iターン40%、Uターン58%。

山崎晋作 議員

『4. 移住体験ツアーについて』旅費が出るだけで、事業として特別な取り組みはないように思える。旅費があるだけでも来島のハードルが下がる効果はあるが、より良い移住体験のためには中身の充実が必要では。

定住促進課長

できるだけ現地に足を運んでもらえるように旅費を支給している。意見があれば今後新しい方法でやることは可能。

山崎晋作 議員

どうすれば移住者が住民と交流でき、移住に対する判断材料が増えるかを話し合う場をぜひ持つて欲しい。

定住促進課長 地元の声を聞きながら実施したい。

山崎晋作 議員

『5. ジャンベ事業について』以前の議会でも述べたが、事業の委託先が島外事業者。村内で活動を続けてくれる人たちがいて初めて初めて「三島村のジャンベ」といえる。何度とも言っているが、少しずつでも事業を島内でできるようにできないか再度検討をして欲しい。

定住促進課長 地元の意見を聞いて、進めていくことは可能。

山崎晋作 議員

以前から議会でも度々発言しているが、地元関係者に確認したところ役場からの聞き取りはなかったとのこと。しっかりと行動に移してほしい。

定住促進課長 地元の声を聞きながら実施したい。

山崎晋作 議員

『6. ジオパークについて』観光に対しての効果が薄いと感じる。教育

など効果がある分野に注力した方が良いのでは。観光への効果がわかるデータを示して欲しい。

定住促進課長 観光客数は年間1000人前後。1000〜2000人

増えたが、明らかにジオパークの効果があつたとは考えていない。住民の皆さんを交えた協議会で意見を聞きながら今後も進めていきたい。

山崎晋作 議員

『7. 道路整備について』林道の舗装化と「美しい森林を守り育てる」「やさしい道路づくり」との整合性は？

経済課長 整備は黒島が中心で、開設はしているが未舗装の箇所を舗装する。開設済みなので、森林への影響はないと考えている。

山崎晋作 議員 大雨が多いので、舗装した際の土砂崩れなどにも配慮してほしい。

山崎晋作 議員

『8. 水産業振興について』漁船で漁をする人で生活ができるほど稼

げている人はいない。その中でただ維持費の軽減をしても産業振興に繋がらないのでは。水揚げ量に応じた補助などやり方を考えなければ、水産業は伸びていかないと思う。

経済課長 現在は出荷運賃の補助を行っている。今後漁協とも話をしながら進めていきたい。

山崎晋作 議員

運賃補助はいいのだが、漁船維持費の軽減という計画は例えば漁船の大きさによる補助や一律補助などにしてしまうと、漁に行っても行かなくても支給される。全体として、実績を出して人に補助される仕組みが大事だと思う。

山崎晋作 議員

『9. 硫黄島での公設民営宿舍の整備について』コロナで宿泊事業者が大きなダメージを受けており、状況が良くなつたとしても回復するために期間が必要。その中で立てるべき計画ではない。

定住促進課長 話し合いの場を持

ち地元の方々の意見を聞いて状況を見ながら進めていく。計画しているからといって、乱暴に進めていくことはしない。

山崎晋作 議員

案を作る段階で住民の声を聞くことが明記されている。もし関係者に意見を聞いていたら、民宿を作ることに賛成していただろうか。この状況なら絶対に反対したと思う。

定住促進課長

2〜3年前に民宿の方々と話をして一定の理解を得ているが、今経営している皆さんに影響を与えないよう、実施の判断も含めて細かく意見を聞いて進める計画になっている。

山崎晋作 議員

コロナ前と今では大きく状況が変わっている。今回の計画の根拠とはならない。

山崎晋作 議員

『10. 特産品開発の体制について』産業系施設をNPOや生産者組合などに譲渡する計画があるが、「特産品は村が主体となつて開発し、

施設は譲渡する」ではなく、島の事業者を育て、役場はサポートしていくべきでは。そうしないと長期的発展は見込めない。

定住促進課長

施設は民間の事業者が活用できるように進めていきたいと考えている。

公共施設管理計画の中で可能な施設は民間に移していつて、村の財政負担を軽減しようという計画があるので、その部分を盛り込んだ。

山崎晋作 議員

施設は民間へ譲渡するが、行政は別で特産品開発する、というやり方でなく、島の中に事業者を育て、役場はそれをサポートしていつて欲しい。役場が主体となつて開発する必要はない。

山崎晋作 議員

『11. デジタル防災無線について』受信機故障時などの対応が遅い。数ヶ月受信機がないケースもある。

総務課長 今年度予算で何台か入れているので、確認する。



山崎晋作 議員

『12. 三島村が目指す方向について』 次世代通信網

整備について課題が挙げられているが、まず今の環境も十分に活用できている。行政の業務の効率化などできることがあるので、そこから進めて欲しい。全体として村の利便性を上げるための計画が多いが、利便性で本土には絶対に勝てない。本村の強みは何かを見つめ直し、伸ばしていかなければ人口は増えず持続可能にはならない。

総務課長 高速通信事業において、今年度入れ替えの時期でもあり、国庫補助金や起債の申請をするにあたり文書化することが必要。

山崎晋作 議員

『13. 航空路について』 「自然と航

路が要求される時期が必ず来ることを予定して、いつでも利用可能な状況を維持しておく」とあるが、その根拠は？

定住促進課長 貴重な交通手段の一つである航空路を維持していき

いということと記載。

山崎晋作 議員

以前硫黄島に來島された方から、竹林オーナーになると航空路を島民運賃で使えることを活用してはどうかというアイデアを頂いた。数万円お得に旅ができる。ただ維持するだけでなく、積極的に活用することを考えてはどうか。

山崎晋作 議員

『14. コロナ感染など緊急事態発生時の連絡経路について』 現状、島

内・役場での連絡経路に無駄が多い。迅速に間違いなく情報共有できる体制が必要。竹島消防団ではLINEを使って連絡をしているが、スマホがなくて参加できない関係者もいる。看護師のように出張所長も役場からスマホを支給できないか。

総務課長

出張所長は業務が多岐に渡るが、本庁職員も自前のスマホで対応している事情もあるので検討させていただく。

山崎晋作 議員

『15. ガソリンスタンド建設について』

「住民アンケートを基にした計画」とあるが、事実ではない。(一般質問を参照) 給油に関して安心・安全を確保することは大事であるが、時代に逆行しない、ガソリンスタンド以外の方法を模索するべき。温暖化問題に率先して取り組んでいるということで、Yahooが企業版ふるさと納税として鹿児島の大崎町に4600万円寄付。今後は環境問題に取り組むことが村のメリットにもなってくる。もう一度考え直すべきでは。

定住促進課長

持続可能性も視野に入れた上で、住民の方々が納得した上で進めていきたい。エネルギー問題についても社会の様子を見ながら進めることは全体の中で考えている。

山崎晋作 議員

『16. 集落コミュニティ支援事業について』 どんな事業内容か。

定住促進課長 ソフト事業。集落

の方々がコミュニティ活性化や活動についてどんなことを求めているか話をしながら、具体的な内容を詰めていきたい。

山崎晋作 議員

『17. 計画策定における住民との合意形成について』 総務省の資料を

見ると、本計画は「多様な地域住民、NPO、地域活動団体等と共通認識と合意形成を図る」という内容が書かれている。インターネット上で意見を募集するパブリックコメントで住民の意見を集めようとしていたようだが、突然このような方法をとつても意見は集まらない。ちゃんと意見を聞こうと思つたら今までのアンケートや説明会といった方法を取るべきだったのでは。

定住促進課長

各担当課に住民からの声を聞きながら取り組んでいる事業を幅広く挙げてもらい、精査した上で作つた。最終的に初めてとなるパブリックコメントを実施したが、コメントはなかった。作成の経緯・内容については問題ないと判断している。

山崎晋作 議員

NPOは私のところしかなく、地域の団体の役員もしているが、どの課からも計画の話聞いていない。計画の段階で住民との合意形成を図ることが明記されているので、問題がある。議会でこの案を通してしまえば、承認されたからと強引に進められても何も言えなくなる。先に計画を作つて、後で話を聞くから、という手法は今後取らないでいただきたい。

定住促進課長

それぞれの計画を実施する場合には地元の方々に説明しながら進めていく。また、実際に進める場合は予算に対して議会の承認が必要なので、情報提供をしつかりしていく。計画に盛り込まないと対応ができなくなるため、いろんな事業を想定して幅広く計画を策定している。

山崎晋作 議員

幅広い計画が必要だからこそ、案を作る段階での話し合いが必要。役場においては気付かないこと、アイデアも出てくる。後で要望しても、「計画にないからできない」という事態も起こる。

だからこそ国も案を作る段階で住民と合意形成を図ることを明記しているのでは。後で話すつもり、というやり方を今後はやめて欲しい。

定住促進課長

更新時期が違う事業が多くあったり複雑なところもあり、少ない人員で業務を行っているので、地元の方々の考えを踏まえてやっていく手法を今後考えていかなければならないと考えている。

紙の資料だけ送つても意見が出にくいので、先日行つた自然公園の話し合いのようにリモートや、新しく導入したパブリックコメントなども検証していきたい。計画については今後見直しもする。この計画の基となる法律の有効期間が十年間であり、国勢調査に合わせて5年で作成している。情報をもらえれば追加も可能。



中原良範 議員

『1. 看護師の確保について』

長続きしない看護師が多い。人選をしつかりして最低2〜3年続く人材を確保して欲しい。

民生課長

適性を見て少しでも長く勤めてもらえる方を選んでいるつもりだが、短期間で退職される方がおり、住民の皆様にはご迷惑をおかけしている。今後そういった事例がないように看護師さんの意見を伺つたりして支援していきたい。

中原良範 議員

『2. 新船の運航速度について』

エリーが新しくなったが、運航時間が変わらないか、少し遅くなっている。時間短縮も計画に盛り込まれていたので、対応して欲しい。

船舶課長

運航時間については旧船と同程度で運航している。気象状況によつてはスピードを落とす必要がある。エンジンの回転数を上げればスピードは速くなるが、燃費が悪くなる。島間は距離が短いので回転数を上げてもスピードは変わらない。潮の流れによつては鹿兒島〜竹島間で10分短縮していることもある。

村長

新船についてスピード重視にするか、離接岸の機能を特化さ

せるか色々議論があつた。スピードを保つたまま離接岸の安定性を充実させようということでの今の形になった。

中原良範 議員

『3. 港の活用について』

財政状況から新しい港は現実的に不可能なので、今ある港をいかに有効に使うかが大事。台風の際など避難が必要だが、現在どの地区の港も避難港として使えない。以前村長が竹島の港を避難港にと言っていたが、どうなっているか。硫黄島には火山があるので、有事の際の避難港としても竹島・黒島の港は重要。

経済課長

県に話をしている。漁船のデータ収集などを指示されている。現在竹島・大里は沖防波堤の工事中。国からの交付金が少なく、なかなか事業が進んでおらず、何年かかるかわからない。さらに既存の防波堤などの修復も必要で、そこは国の制度を使って計画に組み込んでいく。



山田和広 議員

『1. 計画策定について』

少ない人員で大変だと思うが、議員として承認する責任がある。予算確保のために幅広く事業を計画してくれているのはわかるが、やはり事前に住民の意見を聞いて欲しい。

『2. 航路について』

村長が就任当初から進める1日1便には賛成。本村に本土とつながる道路である。ただ、竹島にとって運航時間が長くなるので反対が多い。黒島は近くなるので賛成が多い。計画が全てでなく、反省点を踏まえて実行していくが、計画がないと先に進めないで組み込んであると私は理解している。

村長

1日1便を公約として当選させていただいた。課題もあるが1日1便になって便利になったと言われるように進めていきたい。観光面での要望もあるので、日帰り便で黒島・硫黄島・竹島という逆便もできないか国に要望していきたい。

枕崎航路は枕崎市長、漁協を含めて前向きな意見をいただいている。1泊2日航海を枕崎航路にできれば週6便と考えることもできる。

就航率も重要になってくるが、沖防波堤のケーソン1つを設置するのに6億円必要。現在本村の港湾事業費が1年で3億円。竹島だけで5〜6つ設置しないといけない。何十年とかかる。少しでも接岸できるように操船技術の指導もしてもらっている。硫黄島は港の整備が進んでおり、黒島は2つ港があるが、問題は竹島。村の予算では厳しいので、水産庁の予算で漁港、避難港にできないか打診をしている。

日高重行 議員

『土地の有効活用について』

計画に追加すべきだと思う。現在は定住者がチャレンジしにくい状況。地籍調査と同時で地図作成も期待していた。水道事業が特別会計になり地区に委託がきたが、地図が非常に見にくかった。何か始める時に基本情報となるので整備すべきでは。

村長

定住を進める中で重要なことなので、今後計画に盛り込みたい。

経済課長

地籍調査の事業では地籍地図まで作れないがわかりにくい。管内図があるので、それを有効活用できればと考えている。

定住促進課長

住宅地図についても、要望があれば担当課に上げてもらい、試算などをして議会で承認されれば実行可能。できるだけ対応したいので、情報・要望があれば日頃からいただきたい。

議案第24号

村営住宅の設置及び管理に関する条例

【条約制定】

【概要】 ・村営住宅に関する条例の制定

主な内容

- ・改修した場合の賃料の値上げ
- ・ハウスシェアとして使用できる

【討論】 あり

【議決・採決】 < 否決 > 賛成 2 反対 3

【討論】

『反対』 山崎晋作 議員

議員の質疑に明確な答弁がないまま議決することはできない。現在入居中の住宅で月10000〜20000円上がるケースがあるとのことだが、水道料金も上がったタイミングで月にそれだけ上がるのは負担が大きい。今まで不明確な部分だった整理されることは大事なので、修正してまた議案にあげて欲しい。

『賛成』 日高重行 議員

「必要な情報は規則で定める」とあるが、定める際に都度議会へ報告し、議会の議決を必要とする形なら賛成。

【質疑】

山田和広 議員

『村営住宅でのペット飼育について』

匂いなど住宅への影響が大きいのが、責任を負わずに退去していく人が多い。借りてる家であり、リフォーム代も村が負担するので、入居時・退去時にもっと厳しく対応すべきでは。

定住促進課長 今回ペットの影響に

よる修繕は入居者負担であること・犬猫以外は飼育できないこと（村長の許可があった場合は可）を明記した。ただ現在すでに飼育している場合もあるので、都度動物愛護の観点も踏まえて慎重に対応していきたい。



中原良範 議員

『住宅の明渡しについて』

条例内で入居時や明渡し（強制退去）について毎年の収入の申告・税金や家賃の滞納などが書かれているが、違反者に対してしっかり対応できるのか。

定住促進課長 条例に明記したので、今後入居時にしっかり審査したい。

現在入居中の滞納者は新しい条例について情報を伝え、説明しながら回収していく。正当な理由なく1ヶ月以上村営住宅を空ける場合は明渡しの請求をしていく。収入がない場合、福祉の観点からのフォローもできるようにしていきたい。



谷口伸二 議員

『改修費について』

経年

劣化による改修は家主（役場）が負担すると借家法で決まっている。改修費に応じた家賃の値上げは経年劣化分も借主に負担を強いるものではないか。コロナの打撃もある中で家賃上げは住民生活にも影響を与えるのでは。

定住促進課長

今までも家賃の見直しは可能だったが、変更してこなかった。物価の上昇や財源不足などの課題もあるので、大きくリフォームした物件についてはある程度負担していただくと考えた。

今値上げに該当する方はそれ程いない。現在竹島で改修中の住宅は750万円ほどで、新たな入居者には新料金が適用される。150万以下の改修は経年劣化に当たるかもしれないので、値上がりしない設定にしている。

大きな金額で改修した物件は修繕だけでなく機能向上の工事も行っているの、住民の皆さんからも家賃について色々な意見を頂いている。

谷口伸二 議員 今住んでいる人の

物件を大きくリフォームした時に、本人が納得していればいいが、そうじゃない場合、勝手に改修して値上がりする、というのはおかしい。

定住促進課長 そうしたケースが

あれば、経年劣化部分と区別して、借家法に問題ないように対応したい。家賃の値上げは新たに借りた人という文言もあればよかったと思う。

谷口伸二 議員 そうであれば問題

ない。

定住促進課長 家賃の変更につい

ては他の自治体の例を見ても問題ないと考える。



山崎晋作 議員

『入居できる条件と強制退去の条件について』

入居時の条件と強制退去の条件が違っているが、すでに入居している人が入居時の条件に違反した場合（毎年収入の申告を行う、税金の滞納をしない、など）は強制退去の対象とはならないのか？

定住促進課長 遵守できない場合は強制退去の対象となる。

山崎晋作 議員

『現在入居中の住宅の値上がりについて』

今回の条例改正で建築年度による家賃基本料が明記されるようになったが、それにより現在入居中の住民で家賃が変動する方がいるか。

定住促進課長

若干名いらつしやる。1000〜2000円上がる方もいるので、丁寧に説明していきたい。それか、新たに入居した人に限るようにするか、ですね。

山崎晋作 議員

『建築年度ごとの家賃基本料設定について』

平成20年度以降に建てられた住宅は基本料が同じになっているが、これからできる新築物件と、10年以上前に建てられた物件の家賃が同じなのは公平でないのでは。

定住促進課長

現在の家賃とほぼ同じになるよう設定している。今回の改正であまり

変動がないようにし、物価の上昇など変更する必要があるれば住民へ十分な説明をしながら進めていきたい。



山崎晋作 議員

『改修後の家賃基本料について』 改修して家賃が上がった物件を再度改修する場合、基本料金はどうか。

定住促進課長 1回目の改修後の新しい基本料がベースとなり、2回目の改修費用により再度値上がりする。

議案第25号
三島村固定資産評価委員会条例の一部を改正する条例

〔条例改正〕

【概要】

・「署名押印しなければならない」旨の削除

【討論】 なし

【議決・採決】 賛成 5 反対 0

【質疑】 なし

議案第26号
三島村税条例等の一部を改正する条例

〔条例改正〕

【概要】

・国の法律改正に対応した条例の改正

【討論】 なし

【議決・採決】 賛成 5 反対 0 (専決処分)

【質疑】

山崎晋作 議員

『条例改正による具体的な変化について』

総務課長

国の法律改正に合わせた条例改正となるが、本村には大きな影響・変化はない改正。

議案第27号
令和3年度三島村一般会計補正予算(第6号)

【討論】

〔反対〕 山崎晋作 議員 宿泊施設

に関して村長からも答弁があったが、述べていたのはあくまでコロナ前の状況。住民とも話し合いをし、そこで必要だと合意形成ができればその時に改めて予算を組み、議

【質疑】

山崎晋作 議員

『1. 説明欄の内容が不十分』

総務課長 説明を詳しく記載することは難しい。不明点については連絡をもらえれば事前に回答する。

山崎晋作 議員 詳細に説明を記載する必要はないが、「工事請負費」

硫黄島はキャンピングカーの導入もあり宿泊できる人数は増えているはず。データとして根拠があれば関係者の理解も得られやすいし、宿の規模など計画もたてやすい。旧みゆき荘の調査費の修正を求める。

〔賛成〕 日高重行 議員 今回の補正予算の議決が遅れると、黒島の中里線の工事など緊急性のある事業に支障があるので賛成する。



の説明が「工事請負費」といった書き方は内容がわからないのでやめてほしい。

総務課長 次回から改善していきたい。

山崎晋作 議員

『2. コロナ生活困窮者自立支援金の該当者数は?』

民生課長 今のところはない。コロナにより生活が困窮した場合の貸付制度のために準備している予算。

山崎晋作 議員

『3. 子育てのための施設等利用給付金とは何か?』

民生課長 里帰り出産時に一時的に本土の幼稚園等に入園する場合に給付する予算。1/2が国・1/4が県、村の出費が1/4となる。

山崎晋作 議員

『4. 旧みゆき荘にかかる手数料100万円とは?』

定住促進課長 施設の耐久性などを調査するための手数料。

山崎晋作 議員

過疎地域持続的発展計画の中でこの物件を使った宿の計画があり、「住民と話をして進めるかどうか決める、強引に進めることはない」と答弁されていたが、予算をとって実際に進めようとしている。答弁の整合性がないと思われるがいかがか。

定住促進課長

村有施設なので、撤去の必要性も含めて耐久性を把握しておかなければならないため最低限の調査が必要。

山崎晋作 議員

物件購入時、最低限の調査はしていなかったのか。先に住民の声を聞いて用途が絞れていれば、調査内容もかかる費用も変わってきたのでは? 不誠実な進め方だと感じる。

定住促進課長

購入した部分は調査済みで、今回調査するのは村に返却してもらった部分。民宿以外にも若者活動支援施設や住宅など有効

活用方法を役場内で検討している。住民の意向を聞きながら進めている。

村長

人口増加には雇用の確保が必要で、そのための観光振興で宿泊施設の不足が最大のネック。年間での位のお客さんを断っているか民宿事業者に伺ったところ、相当数いるということだった。「1日1便ないし、三島村に行くのは厳しいね」という意見が届いたこともある。コロナ禍で大変な状況だが、宿泊施設の確保は課題。民業を圧迫してはならないことは理解しているが、しっかりと住民説明をして知恵を出し合いながら財源確保も含めて進めていく必要がある。

議案第28号

令和3年度三島村国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

別会計補正予算(第1号)

【補正予算】

【概要】・< 補正額: +46 万円 >

財源内訳

・自主財源 46 万円 (繰越金)

主な使い道

・準備基金に積立 22 万円

・予備費 23 万円

【討論】なし

【議決・採決】賛成 5 反対 0

【質疑】なし

【補正予算】

【概要】< 補正額: +156 万円 >

財源内訳

・自主財源 156 万円 (繰越金)

主な使い道

・予備費 156 万円

【討論】なし

【議決・採決】賛成 5 反対 0

【質疑】なし



【補正予算】

【概要】< 補正額: +321 万円 >

財源内訳

・自主財源 321 万円 (繰越金)

主な使い道

・介護給付費基金に積立 128 万円

・償還金 170 万円

・予備費 22 万円

【討論】なし

【議決・採決】賛成 5 反対 0

【質疑】なし

議案第29号
令和3年度三島村介護保険特別会計補正予算(第1号)

議案第30号
令和3年度三島村後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)

議案第31号
令和3年度三島村特産品焼酎特別
会計補正予算（第1号）

【補正予算】

【概要】＜補正額：+248万円＞
財源内訳
・自主財源 248万円（繰越金）
主な使い道
・予備費 248万円
【討論】なし
【議決・採決】賛成5 反対0
【質疑】なし

認定第1号

令和2年度三島村船舶交通事業特
別会計歳入歳出決算認定

【決算認定】

【概要】下表参照
【討論】なし
【議決・採決】
賛成5 反対0

【質疑】

山崎晋作 議員



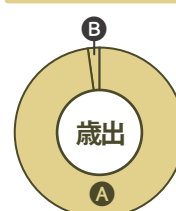
『1. 条件付き航海などの
データについて』就航海率
だけでなく条件付き航海などのデ
ータも提示して欲しい。

船舶課長

説明資料に添付するようにする。

合計：8億1458万円

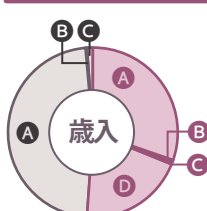
船舶交通事業



A 船舶交通事業費
7億9787万円
B 公債費 1670万円

合計：3億9012万円

船舶交通事業



自主財源
A 船舶交通事業収入
1億1812万円
B 繰入金 158万円
C 諸収入 240万円
D 繰越金 7750万円
依存財源
A 国庫支出金 1億8529万円
B 県支出金 146万円
C 運賃割引収入 375万円

山崎晋作 議員

『2. 害虫駆除について』

6万9000円の予算に対して
3000万円計上されている理由は？

船舶課長 旧船フェリーの管理費
用がこの部分に計上されている。

山崎晋作 議員 説明欄に一言説明
があるとうわかりやすい。

中原良範 議員



『燃料費について』航海
燃料
費が増えているのはなぜか。

船舶課長 燃料代の単価上昇によ
るもの。

認定第2号

令和2年度三島村国民健康保険特
別会計歳入歳出決算認定

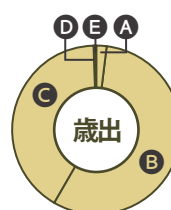
【決算認定】

【概要】下表の通り
【討論】なし
【議決・採決】
賛成5 反対0



合計：6700万円

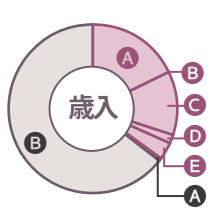
国民健康保険



A 総務費 145万円
B 保険給付費 3771万円
C 国民健康保険事業費
納付金 2764万円
D 保険事業費 19万円
E 基金積立金 0.1万円

合計：6746万円

国民健康保険



自主財源
A 国民健康保険税 1206万円
B 財産収入 0.1万円
C 繰入金 818万円
D 繰越金 121万円
E 諸収入 220万円
依存財源
A 国庫支出金 33万円
B 県支出金 4346万円

【質疑】

山崎晋作 議員

『1. 未納金について』



不足分を補うための一般会計からの繰入が約240万円。未納が現年度で約50万、繰越分が約100万円とかなり大きい金額。しっかり回収して欲しい。

総務課長 収納率100%に向けて取り組んでいく。

山崎晋作 議員

『2. 健康診断の受診率は?』

民生課長 78・4%。個別受診に変更し、受診率が上がった。

山崎晋作 議員

竹島の看護師2名のうち1名が引き継ぎが不十分のまま退職されたようで、残った1名が大変そうであった。

予約制自体が導入されたばかりで最初はスムーズにはいかないと思うが、今後も看護師が入れ替わることは想定できるので、マニュアルがあったほうが良いのでは。

民生課長 業務をマニュアル化し、入れ替わりがあってもスムーズに引

き継ぎができるようにしていきたい。

認定第3号
令和2年度三島村介護保険特別会計歳入歳出決算認定

【決算認定】

【概要】 下表の通り

【討論】 なし

【議決・採決】
賛成5 反対0

【質疑】

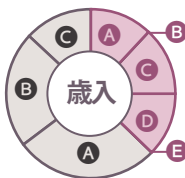


山崎晋作 議員 基金の取り崩しが多く、続けていけば財政が厳しくなるが、今後の見通しは?

民生課長 要介護者の重症化が進んでおり令和2年3月の17名から令和3年9月時点で23名になっている。給付費も年々増加しているため、3年ごとに保険料の見直しもしている。重症化を防ぐ事業に取り組んでいるが、財政的には厳しい状況。

介護保険(介護保険事業分)

合計：4222万円

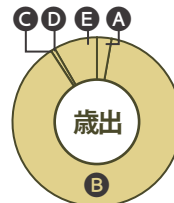


自主財源

依存財源

- A 保険料 509万円
- B 財産収入 0.2万円
- C 繰入金 551万円
- D 繰越金 519万円
- E 諸収入 65万円
- A 国庫支出金 1164万円
- B 支払基金交付金 937万円
- C 県支出金 541万円

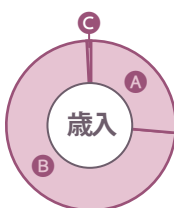
介護保険(介護保険事業分) 合計：3798万円



- A 総務費 113万円
- B 保険給付費 3343万円
- C 基金積立金 0.2万円
- D 地域支援事業費 34万円
- E 諸支出金 307万円

介護保険(サービス事業分)

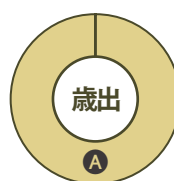
合計：130万円



自主財源

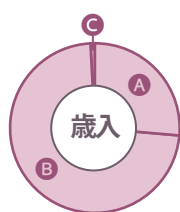
- A サービス収入 34万円
- B 繰入金 95万円
- C 繰越金 0.9万円

介護保険(サービス事業分) 合計：108万円



- A 総務費 108万円

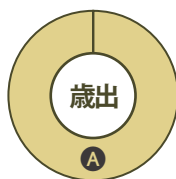
介護保険(サービス事業分) 合計：130万円



自主財源

- A サービス収入 34万円
- B 繰入金 95万円
- C 繰越金 0.9万円

介護保険(サービス事業分) 合計：108万円



- A 総務費 108万円

【決算認定】

【概要】 上表の通り

【討論】 なし

【議決・採決】
賛成 5 反対 0

【質疑】 なし

認定第5号

令和2年度三島村特産品焼酎特別
会計歳入歳出決算認定

【決算認定】

【概要】 下表の通り

【討論】 なし

【議決・採決】
賛成 5 反対 0

【質疑】

山崎晋作 議員

『1. 人件費について』

営業担当の人件費はどの
項目に含まれているか。



定住促進課長

営業担当が入った
のが昨年12月くらいから。

山崎晋作 議員

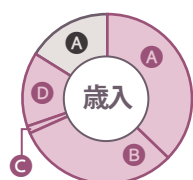
12月であればどこ
かに計上されているはずなので、そ
の項目を教えて欲しい。

定住促進課長

令和2年度は企画
(一般会計・定住促進課) に入っ

特産品焼酎事業

合計：2900万円



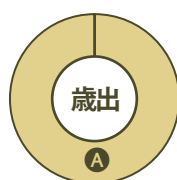
自主財源

依存財源

- A 焼酎事業収入 1080万円
- B 繰入金 903万円
- C 諸収入 41万円
- D 繰越金 412万円
- A 県支出金 463万円

特産品焼酎事業

合計：2652万円



- A 焼酎製造事業費 2652万円

ているが、令和3年度は焼酎の特
別会計で計上する。透明性を高め
てやっていく。

山崎晋作 議員

『2. 人材確保について』

焼酎事業
が赤字である1番の問題は、経営
陣にあたるのが役場職員であるこ
と。成功しても失敗しても自分の
懐が痛まない環境では経営能力を
養えない。

以前から地域おこし協力隊関連の
活用も進言しているが、特別交付
税なので実際に予定している予算
が入るかわからないので積極的に
活用しない方針と答弁があった。

しかし、総務省によると他の事業な
ら申請しても50%以上減らされると
ころ、協力隊関連は基本的に100
%の措置率のかなり有利な制度との
こと。専門的な経験を持ったプロジ
ェクトマネージャーを対象とした制
度もあるので、適した人材を確保し
て黒字化を目指して欲しい。

定住促進課長

協力隊は硫黄島に
1名入れる予定。積極的に活用し
ていきたい。

焼酎事業は現在いる専門性を持つ

た営業担当を中心にやっているの
で、今はこの体制で進めていく。

総務課長 地域おこし協力隊（特
別交付税）について有益な情報が
あれば詳しく教えて欲しい。

村長 必要経費を賄えれば利益を
出す必要はない。職員一丸となって
頑張っている。（難しい酒税免許を
とった経緯、地方交付税についての
説明）特別交付税は知事の裁量、
判断。訴えていくのが村長として
の大きな役割。（災害に対しての特
別交付税についての説明）

山崎晋作 議員 直接的な生産以
外にも、Webデザイン、動画制
作など付随した業務があるが、島
内でできれば雇用確保につながる。
議会・村民も含め村全体で黒字化
に取り組めればと思う。

定住促進課長 Webデザインは
島内の事業者に委託している。

山崎晋作 議員
『3.職員の焼酎購入について』職

員の焼酎購入額が年々上がっている
が、売上を上げるための圧力がかか
っているようなことはないか。自爆
営業にならないようにして欲しい。

定住促進課長 事業を支えるため
に自宅用・贈答用などで全職員協
力をお願いしているが、強制はない。



中原良範 議員
『焼酎の在庫について』
現在の在庫9500本と

今年度の生産分8000本を販売
できるのか。販売状況に応じて生
産量を調整することもあるのでは。

定住促進課長 貯蔵甕が20本しか
ないので、その中で需給を見ながら
調整を進めていく予定。さつま
いもの病気などで生産数はもう少
し減る見込み。



山田和広 議員
『小さい記念ボトルにつ
いて』お土産などに買

いたいと好評だった。手軽な大き
さ、金額の小さいボトルは販売し
やすいのでは。他にも住民の声を

聞いてみては。

定住促進課長 採算性を計算し、
担当と協議する。



認定第6号
令和2年度三島村明許繰越会計歳
入歳出決算認定

【決算認定】

【概要】下表の通り

【討論】なし

【議決・採決】

賛成5 反対0

【質疑】

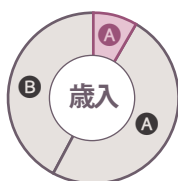


山崎晋作 議員
『本庁舎の耐震審査につ
いて』

総務課長 2・3階部分は大規
模地震には耐えられない可能性

明許繰越

合計：9726万円



自主財源

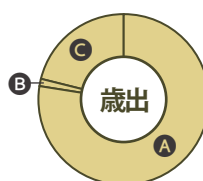
A 繰越金 829万円

依存財源

A 国庫支出金 4817万円
B 村債 4080万円

明許繰越

合計：9726万円

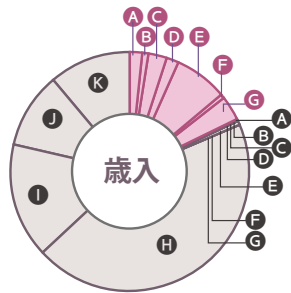


A 総務管理費 7563万円
B 商工費 132万円
C 土木費 2030万円

があるとの診断結果。本庁舎の
構造上、外部からの補強が難し
く、内側に補強材を設置する必

【表3】 一般会計予算 歳入・歳出

一般会計予算 歳入 合計：20億5217万円



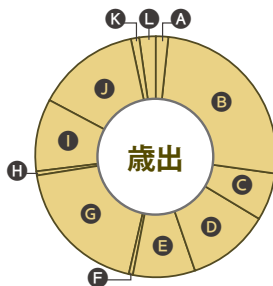
自主財源

- A 村税 3569万円
- B 使用料/手数料 2057万円
- C 財産収入 4763万円
- D 寄付金 3823万円
- E 繰入金 1億4515万円
- F 繰越金 1214万円
- G 諸収入 6567万円

依存財源

- A 地方譲与税 977万円
- B 利子割交付金 2万円
- C 配当割交付金 7万円
- D 株式等譲渡所得割交付金 7万円
- E 地方消費税交付金 811万円
- F 自動車取得税交付金 42万円
- G 地方特例交付金 25万円
- H 地方交付税 9億1550万円
- I 国庫支出金 3億1695万円
- J 県支出金 2億817万円
- K 村債 2億2767万円

一般会計予算 歳出 合計：19億3787万円



- A 議会費 3541万円
- B 総務費 4億9244万円
- C 民生費 1億2866万円
- D 衛生費 2億1487万円
- E 農林水産業費 1億5854万円
- F 商工費 999万円
- G 土木費 3億6679万円
- H 消防費 1029万円
- I 教育費 1億9184万円
- J 公債費 2億6570万円
- K 諸支出金 2079万円
- L 災害復旧費 4250万円

【決算認定】

【概要】

- ・【表3】参照
- ・課ごとの歳出内訳参照

【討論】なし

【議決・採決】

賛成 5 反対 0

認定第7号
令和2年度三島村一般会計歳入歳出決算認定



総務課長 見積もりはまだ取れていないが、建て替えとなれば現在の積み立てでは全く足りないと思っている。

舎を建てるとなればどのくらいの予算を見込んでいるか。



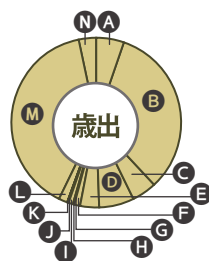
谷口伸二議員
『新庁舎の建て替え費用について』 実際に新庁舎

要がある。今後の対応を検討する時期かもしれない。基金積立額は3億6000万円ほど。

り回収不可として計上されている



山崎晋作議員
『1. 滞納金の時効について』 滞納金が時効によ



総務課 合計：6億7046万円 歳出の内訳（課ごとに分類）

- A 議会費 3541万円
- B 一般管理費 2億2093万円
- C 財産管理費 3095万円
- D 庁舎及び公共施設等維持運営費 4556万円
- E 高速通信事業費 2322万円
- F ふるさと納税事業費 786万円
- G 徴税費 100万円
- H 選挙費 20万円
- I 県知事選挙費 667万円
- J 統計調査費 68万円
- K 監査委員費 113万円
- L 消防費 1029万円
- M 公債費 2億6570万円
- N 諸支出金 2079万円

△総務課の決算について▽

【質疑】

が、地方自治法236条では納入通知・督促で時効の更新ができると書いてあるが、適用されているか。

総務課長 督促などでの時効の中断は10日間。5年間経つと時効となるが、今回計上した分は中断期間を含めても5年超える。

山崎晋作 議員 236条は以前は時効の「中断」という表記だったが、今は「更新」になっているが、もし時効と判断したが実は有効だった、というケースがあつたら対応をお願いしたい。

総務課長 精査する。

山崎晋作 議員

『2. ふるさと納税の使用用途公開について』 多くの自治体でふるさと納税の一部がどう使われたか公開している。三島村ではどのように使われたのか。また、今後公開の予定は？

総務課長 一般財源に充当し、様々な事業に使っている。国への報告に



■ふるさと応援寄付金 謝礼品ホームページ



は筍の販売など目に止まってもらいたい事業を中心に報告している。

山崎晋作 議員

全部を載せる必要はないが、一部でも有意義な用途を公開すれば、検討中の方に対してよい判断材料になると思う。

総務課長 以後検討する。

山崎晋作 議員

『3. 旅費について』 航空機での移動を伴う出張の旅費に関する見直しをしてもらったが、実際にどのくらい削減できたか。

総務課長 1回あたり4〜5万円の経費削減となつている。

山崎晋作 議員

『4. 公有財産3ヶ所の詳細について』

総務課長

- ・大里 個人住宅 350万円
- ・硫黄島 個人住宅 430万円
- ・硫黄島 ガソリンスタンド用地 84万円。

山崎晋作 議員

『5. 公共施設の改修について』 台風時などに避難する公共施設が全面ガラス張りで危険なためシャッター設置をすることになっていたが、まだ施工されていない。いつごろになるか。

総務課長 工期である12月までに。



中原良範 議員

『1. 収入未済額について』 収入未済額（収入として入ってくる予定だったが入ってきいていない分）が約668万円のうち、財産運用収入が約547万

円ある。内訳は？

総務課長 主に村営住宅・村有民宿の使用料。滞納分も計上してある。これらの使用料は時効がないので、引き続き回収できるよう努力する。

中原良範 議員

『2. 不要額について』

1億3477万円もの不要額が出ている。予算現額の5.1%に値する。見込みが甘いと思う。他に必要なことに予算を使ったのでは。

総務課長 コロナの影響で実行できない事業もあつた。精査してできる限り不要額が出ないような形で取り組んでいきたい。



山田和広 議員

『1. 備品購入費について』 竹島島内連絡車両とあるが、どんな用途の車両か。

総務課長 竹島公用車の購入費。



山田和広 議員

『2. 役場職員のふるさと納税寄付について』

民は寄付できないが、役場職員の寄付状況は？島とは違う視点の意見ももらえれば、返礼品ももっと充実してくるのでは。

総務課長

ふるさと納税の収入が1771万円。職員もアイデアを出し、三島村の特産品も返礼品として伸びてきている。職員の寄付も増えてきている。

山田和広 議員

『3. 知事選挙時のフェリー備船料について』

約380万円かかっているが、誰が負担しているのか。

総務課長

全額県から補填。

山田和広 議員

『4. デジタル防災無線について』

故障が多い。改善して欲しい。

総務課長

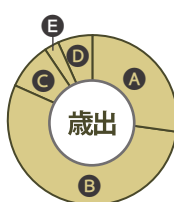
コロナ禍で修理も行きにくい状況であった。令和3年度から新たに保守契約を結んだので

点検の徹底をする。

△定住促進課の決算について▽

定住促進課 合計：1億5077万円

歳出の内訳（課ごとに分類）



- A 企画費 4108万円
- B ジャンベスクール運営費 8245万円
- C 定住促進事業費 1317万円
- D 特産物生産事業費 406万円
- E 観光費 999万円



山崎晋作 議員

『1. 焼酎事業のPR費用について』

スターやCMなどの費用が一般財源に計上されているのはなぜか。

定住促進課長

特産品販売支援事業の中で行ったので企画費の中に入っている。

山崎晋作 議員

透明性確保のために注記という形でもよいので関連する経費は特別会計の方にも記載して欲しい。

定住促進課長

かかった経費はなるべく特別会計で計上して透明性を確保することは気をつけているが、今回は有利な補助金を活用するということもあり、一般会計での計上となっている。

山崎晋作 議員

有利な制度はぜひ柔軟に使ってほしい。特別会計の中に正式に盛り込まなくてもよいので、注記などで全体として実際かかった経費がわかるようにして欲しい。



山崎晋作 議員

『2. 村有民宿の備品について』

備品故障時の対応が民宿によって違うのではないかと声がある。公開されている規定を確認したが、かなり以前で改訂が止まっており、現状に該当しない内容だった。見直しが必要では。

定住促進課長

条例は平成30年に定めている。民宿備品については委託締結書を交わしている。

備品リストを作成し、経年劣化によつて更新が必要な場合は5万円未満は民宿負担、10万円以上は村の負担、5万円以上10万円未満は民宿と村で1/2ずつ負担すると定め、それに沿って適切に対応している。

規定はご指摘の通り古い内容となつていたので、すぐに廃止か改正を行う。

山崎晋作 議員

『3. 民宿へのコロナ関連協力金について』

船舶交通特別会計で提示されたフェリー利用者のデータを

もとに計算すると、令和2年度の損害は1件あたり1ヶ月20万円ほどとなる。

影響は偏っているので、月に30〜40万の損害があつた民宿もあるはず。

村から支給された協力金は令和2年度11月〜3月が1万7000円。令和3年度は4〜9月が4万円、10月〜3月が1万7000円。これでは不十分では。算定の見直しを。

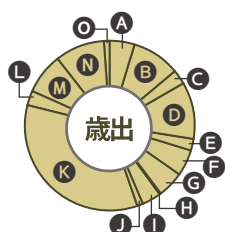
定住促進課長 全体的な減少は把握しているが、観光客分だけで算出している。観光関係で1000人前後の減を把握している。議員から意見をもらったのです。すでに調査票を送り、支援については再検討作業を始めている。

実際の減少数や、確定申告による売上情報も参考に算定し、必要がある場合はできるだけ早く支給したい。

民生課の決算について

民生課 合計：3億6423万円

歳出の内訳（課ごとに分類）



- A 戸籍住民基本台帳費 1747万円
- B 社会福祉総務費 3281万円
- C 後期高齢者医療費 990万円
- D 特別定額給付金給付費 3941万円
- E 児童措置費 777万円
- F すこやか子育て支援費 1834万円
- G 老人福祉総務費 1850万円
- H 高齢者生きがい交流費 90万円

- I 保健衛生費総務費 1357万円
- J 予防費 417万円
- K へき地診療所運営費 1億2403万円
- L 塵芥処理費 1009万円
- M し尿処理費 3396万円
- N 簡易水道維持費 3452万円
- O 衛生施設災害復旧費 322万円



山崎晋作 議員

『1. 遠隔医療について』

遠隔医療関連の決算があ

るが、現状と今後の展望を教えてください。

医師の巡回診療があるが、専門的なことは診療できないので、遠隔医療機能向上があればありがたい。

民生課長 整備をしてから10年経ち、不具合が増えたので更新をした。画質や音声も向上した。全診療所と民生課を繋いでビデオ会議が可能になった。

カンファレンス等に活用している。専門的な診断についてはできるだけ早期に本土の病院で診察してほしい。

山崎晋作 議員

より安心できる医療体制への案として、医師が来島時に本土の専門医と遠隔で話しながら診療は可能か。

民生課長

日赤の病院に専門医がいれば繋ぐことは可能。それ以外の病院は現在対応できない。日赤病院側にも確認してみる。

山崎晋作 議員

病院の指定はない

ので可能であれば検討して欲しい。

山崎晋作 議員

『2. 竹島のリサイクルゴミ置き場について』 台風などで大きく破損しているので補修して欲しい。

民生課長 近日中に竹島に来島し、地域の方と話をして検討したい。

山崎晋作 議員

『3. 経営戦略策定について』 委託料に計上されているが、どんな内容か。

民生課長

簡易水道と下水道事業について令和2年度までに義務付けられていた計画。収支状況や修繕計画など10年間の計画策定。



山田和広 議員

『1. 濾過ポンプの故障について』 片泊で故障

中。新しくなつて住民で故障対応ができない。

最前線で使用する2機のうち1機が故障。修理依頼して見てもら

たら交換とのことだが、なかなか対応されない。

もし残り1機が壊れたら地区内の水道が止まってしまう。今後早急に対応できる体制づくりをしてほしい。

大里も故障しているが、対応がなかなかされないと聞いている。

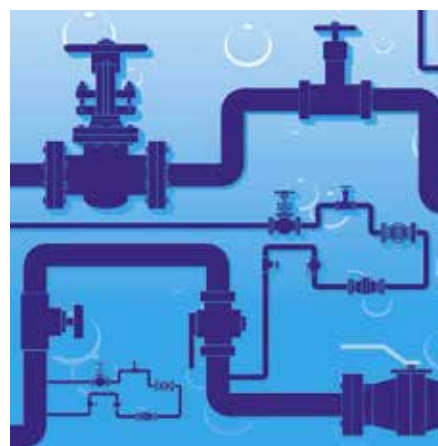
民生課長 樹木が多い環境で異物混入による故障とみている。混入防止対策も含めて業者と調整しているが、早急に対応したい。

大里は塩害が予想以上に大きく短期間で故障が発生している。完全密閉の建屋が必要だという話もあるが、大きな事業費が必要。新たな水源確保なども案として考えている。



山田和広 議員

最初の故障は異物の混入であったが、今回は老朽化のような故障。導入して数年で故障というのはおかしいのでは。予備を準備するなど対策を考えてもらいたい。



民生課長 施行時に水道の業者へいただいた意見を共有したい。予備のポンプについては、メーカーへ対して在庫のストックを要望したが難しいということだった。

生活に密接に関係することなので、再度検討したい。

村長 台風などで停電になるとポンプが止まるため非常電源を用意して対応できるようにしている。

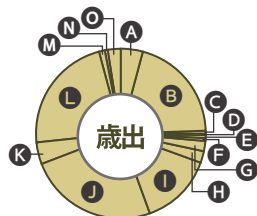
水道事業も特別会計になって住民の皆様それぞれの料金をいただくことにもなるので、しっかりと対応したい。

経済課の決算について



『1. 硫黄島飛行場について』

山崎晋作 議員



経済課 合計：5億4358万円

歳出の内訳 (課ごとに分類)

A 農業総務費 2375万円	I 道路管理費 7507万円
B 畜産振興費 1億927万円	J 港湾建設費 1億3398万円
C 家畜診療所運営費 364万円	K 空港整備事業費 2330万円
D 特定地域振興生産基盤 98万円	L 住宅建設費 1億2138万円
E 林業振興費 374万円	M 公共土木施設災害復旧費 660万円
F 林道費 283万円	N 住宅施設災害復旧費 328万円
G 水産業総務費 1024万円	O 農林業施設災害復旧費 1242万円
H 土木総務費 1303万円	

『令和2年度の経費の総額と利用状況は？』

経済課長 飛行機が38機運航、利用者が61名、うち村民が21名。村民割引に対する村の負担は7800円。

山崎晋作 議員 かった経費の合計を知りたい。修繕費や人件費など。

経済課長 フェンスの修繕で約2200万円などで総額2330万円ほど。年度途中までの職員の人件費は総務課から支出。

山崎晋作 議員 維持費として何千万円という経費がかかるのであれば、飛行場のあり方を考える必要があるのでは。

選択肢が多いことは大事だが、優先順位を決め取捨選択をしなければ財政がパンクすることになる。見極めて健全な運営ができるようお願いしたい。

山崎晋作 議員

『2. 畜産事業について』 令和2年度の経費の総額は？

経済課長 大里地区への新築牛舎の費用4900万円などで1億1300万円ほどの支出。

山崎晋作 議員 行政報告で畜産の売上が1億円を超えたという話があったが、同等以上の経費を使っている。

民間とは違う面はあるが、投資金額よりも大きな成果が出ないと事業として成り立っているとはいえないのでは。費用対効果を意識しながら進めて欲しい。



中原良範 議員

『1. 港内の波について』

時化や台風で接岸が難しいことが多い。消波ブロックや上部工も破損している。港内の潮の流れを止める対策が必要では。

経済課長 竹島は今年度も沖防波堤の工事を行っている。1函据える

のに3〜4年かかる。完成まで何十年かかるかわからない状況だが、設計会社と潮の流れも含めて協議をしていきたい。西防波堤の消波ブロックは令和2年度の繰り越しでブロックを製作据付予定。上部工も修繕予定。

中原良範 議員

『2. みしま2の使用状況について』

経済課長 使用回数が25回、使用料金が14万660円。コロナの影響で利用率が減っている。



山田和広 議員

『1. 黒島の竹林改良について』

経済課長 令和2年度は未実施。令和3年度は片泊で実施予定。地区長と場所の選定中。

山田和広 議員

『2. 海岸漂着物事業について』

700万と金額が大きいので、住民に還元できるような方法はないか。大きな漂着物は業者、小さい

ものは住民で対処するなど。

経済課長 令和2年度は硫黄島の長濱湾と坂本温泉で実施。長濱湾は漁協と委託契約をし、地区の方々に清掃していただいている。

漂着物は島外搬出の必要があるので、業者に依頼し搬出。今後に関しては委託先の漁協と協議する。

山田和広 議員

『3. 港湾建設費の共済費について』

経済課長 市町村共済組合に支払っている経費。

山田和広 議員

『4. 畜産事業について』 先ほど全体で1億1300万円と答弁があったが、積算してみると1億4000万円近く使われている。

これだけの助成を受けている以上、地域への貢献も必要では。村で購入した重機も所有しているのので、有事の際の協力体制を整えることも大事。

経済課長 各地区の畜産振興会の上部組織として三島村肉用牛生産組合があるので、その組合の中でも地域への還元ということで話をしてみる。

山田和広 議員

『5. 黒島の道路復旧工事について』

県道が大雨の影響で陥没し通行できない。迅速に迂回路の対応してもらっているが、まだまだ危険な状態。できるだけ早急に復旧をお願いしたい。

経済課長 県に早急に復旧してもらうよう要請し、県も了承済み。県と協議しながら早急に対応していきたい。

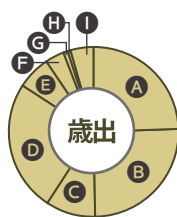


教育委員会の決算について

教育委員会合計：1億9184万円

歳出の内訳（課ごとに分類）

- | | |
|--------------------|-------------------|
| Ⓐ 教育委員会総務費 4704万円 | Ⓕ 外国青年招致事業費 692万円 |
| Ⓑ 教員住宅維持補修費 4838万円 | Ⓖ 社会教育総務費 180万円 |
| Ⓒ しおかぜ留学推進費 1855万円 | Ⓗ 史跡郷土民芸保存費 100万円 |
| Ⓓ 学校管理費 4797万円 | Ⓘ 保健体育総務費 812万円 |
| Ⓔ 学校維持補修費 1206万円 | |



山崎晋作 議員

『1. しおかぜ留学制度について』

里親制度で1人あたり月額9万円は地域内格差、人数の増減による里親の負担を考

えると見直した方がよいのでは。

教育委員会事務局長 教育委員会でも同様に課題として捉えているが、補助金の性質上他の方法が取れない。今後里親の在り方や委託方法を検討し、同制度が安定し充実するように努力していく。

山崎晋作 議員

『2. 学校施設長寿命化計画策定について』 対象は村内4校か。委託料が約1000万円と高額だが、業者の選定方法は？

教育委員会事務局長 4校全て。業者とは随意契約で契約している。

山田和広 議員

山田和広 議員

『1. しおかぜ留学について』

本村になくてはならない制度なので、もう少し詳しく記載して欲しい。

教育長 三島村の児童生徒は約80名、教員が50名で人口約380名中約130名と大きな割合を占める。

三島村にとってしおかぜ留学は非常に重要。受け入れ人数は増減があり、減っていた時期もあったが、令和元年度から20名台になり、令和3年度は30名の枠で28名受け入れている。現在募集中である里親の確保も課題。制度を安定させて学校を存続させるために努力していきたい。

教育委員会事務局長

事業総額1855万円で、里親への業務委託費が1843万円。その他12万円が募集・運営にかかる経費。

山田和広 議員

『2. 学校維持補修について』 補修箇所など詳細説明を。他に必要箇所の情報などが議員から出てくる可能性もある。

教育委員会事務局長

〔内訳〕

竹島学園…刈払機修理・落雷被害による修繕・雨漏り修繕

片泊学園…漏電工事・集会室ガラス取り替え

硫黄島学園…照明器具の設置・音楽室鍵取り替え・教員住宅防水工事

山田和広 議員

島の宝である子どもたちの安全を確保する事業には惜しみなく予算を使い、住民の声を聞きながら対応して欲しい。



報告第2号
令和2年度財政健全化判断比率

〔決算認定〕

【概要】 P3【表2】参照

【討論】なし

【議決・採決】 賛成5 反対0

【質疑】なし

報告第3号
令和2年度資金不足比率

〔決算認定〕

【概要】 P3【表2】参照

【討論】なし

【議決・採決】 賛成5 反対0

【質疑】なし

議案第32号
三島村職員の給与に関する条例の
一部を改正する条例

[条例改正]

【概要】

- ・令和3年 12月分ボーナス
職員：1.275ヶ月分→1.125ヶ月分
再任用職員：0.725ヶ月分→0.625ヶ月分

- ・令和4年度以降 6月・12月分ボーナス
職員：1.275ヶ月分→1.2ヶ月分
再任用職員：0.725ヶ月分→0.675ヶ月分

【討論】なし

【議決・採決】賛成5 反対0

【質疑】

山崎晋作 議員

『条例改正の理由について』

まだあれば人事院の勧告などの理由があつたが、今回は未記載。

総務課長 民間給与との格差などに基づいた人事院の勧告による改正。

山崎晋作 議員

議論するにあつて理由は必ず必要なので記載をお願いしたい。

議案第33号
特別職の職員の給与に関する条例
等の一部を改正する条例

[条例改正]

【概要】

- ・令和3年 12月分ボーナス（特別職・教育長・議員）
1.65ヶ月分→1.575ヶ月分

- ・令和4年度以降 6月・12月分ボーナス（特別職・教育長・議員）
1.675ヶ月分→1.625ヶ月分

【討論】なし

【議決・採決】賛成5 反対0

【質疑】特筆すべき質疑なし

発議第1号
コロナ禍による厳しい財政状況に
対処し地方税財源の充実を求める
意見書

【意見書の同意】

【概要】

同意見書を議会から
国へ対して提出する

【討論】なし

【議決・採決】

賛成5 反対0

【質疑】なし

『9月定例会の一般質問』

この場で議員は、政策の執行状況や将来への取り組みなどについて、村に報告や説明を求めます。



中原良範 議員
竹島地区在住

Q 「ライブカメラの設置について」

港の様子を映すライブカメラを操作して乗客のズームアップ・作業状況・漁船などを映すことが度々見られる。

本来の使用目的はなんなのか？



議員は一般質問をすることで、村が住民のために適切な行政運営をしているかチェックします。

船舶課長 船の安全な航海・離接岸などのためにズームアップをする場合がある。操作のできるパソコンもフェリーのブリッジ及び運航管理者のパソコンのみとしている。

ただ、ご指摘の乗客のズームアップなどに関しては肖像権の侵害に繋がりがねないこと。ライブカメラの映像はインターネットを通じて全国、全世界の不特定多数の方が見ることができるので、操作について担当者と協議・検討したい。

総務課長 ライブカメラの設置目的の1点目は定期船の安全運行。2点目が安心・安全な島民生活の確保。港内には漁船・ヨットなど様々な船が出入港する。中には不審船と思われる船、コロナ禍の中で勝手に上陸する船員も

いる状況。

本庁においても監視をしているため、人物が特定できない程度での運用は行つていくのでご理解いただきたい。

中原良範 議員 人物の特定ができるズームアップなどはやめていただきたい。

Q 「村営住宅の改修工事について」

竹島で村営住宅2棟の改修工事が行われている。

空き家は700～800万円かけて綺麗にリフォームされている一方、長年居住している方の住宅は昨年畳の入れ替えやフローリングへの張り替えなどがされたが、流し台・洗面台・風呂場などはボロボロで、要望してもなかなか対応してくれないと不満の声が出ている。

新しく入居する人と、長年入居している人との格差があるのでは。

定住促進課長 空き家改修は

国の制度を活用して行っており、およそ補助金50%、過疎債37.5%、一般財源12.5%で村の負担は実質25%程度。

空き家であれば負担が少なく改修ができるため入居者がいないタイミングでこの補助事業を活用している。空き家以外は村の負担が大きいため大規模補修が難しい。各住宅の状況については調査済みで、少しずつ補修を実施しているが、なかなか追いつかない。



格差については本議会の日程で改修費に応じた家賃の設定をし、改修のための財源確保、村民の負担の適正化をする条例を上程している。

経済課長 畳の張り替え・床補修などは、

- ・令和元年度…竹島
- ・令和2年度…硫黄島
- ・令和3年度…大里
- ・令和4年度…片泊

と計画的に実施。

現在村営住宅は全部で93棟。

- ・竹島…22棟
- ・硫黄島…32棟
- ・大里…19棟
- ・片泊…20棟

管理が行き届かずご迷惑をおかけして申し訳ないが、可能な限り改修を行っていきたい。

中原良範 議員 離島は工事費も高く、施工業者がなかなか来てく

れないという厳しい状況も理解している。

入居中の工事も大変。空き家がある時に荷物を仮置きするといった対策が取れたらよい。

畳の入れ替えや床の工事は画期的な一歩であったかもしれないが、洗面所、トイレ、台所といったところの老朽化は目につき、新しいところを羨ましく思うことも受け止めて欲しい。

Q 「村税・振興資金等の徴収しなければならぬ滞納金はどうなっているか」

以前の議会で質問し、行政から厳しく対応し改善すると答弁があった。税金・家賃回収などは改善しつつあると思うが、村の貸付振興資金の回収はどうなっているか。

債務者が亡くなっているケースもあると思う。正当な請求が履行されているか。連帯保証人を2人立てていると思うが、保証人への督促

はどのようなになっているか。

経済課長

〔農林水産業貸付基金〕

- ・貸付残高…2193万5500円
- ・滞納者…10名
- ・滞納額…1904万5500円

〔畜産経営安定化貸付基金〕

- ・貸付残高…684万1700円
- ・滞納者…5名
- ・滞納額…540万円

催告状を発送し、何名かの滞納者からは償還があったが、滞納額の解消には至っていない。引き続き催告状の送付と確約書の提出、併せて保証人への通知を行っていく。

定住促進課長

〔定住促進対策貸付基金〕

- 令和3年度当初
- ・滞納者…8名
- ・滞納額…651万5290円。

30万円程度債権の回収ができてい

る状況。村内在住の7名のうち3名には確約書を提出してもらった。返済計画通りに納付していただけるよう進めていきたい。

残り4件は死亡者が2名、所在不明が2名。法律専門家への相談も検討しながら回収作業を続けていきたい。

〔住宅使用料〕

- 令和3年度当初
- ・滞納者…12名
- ・滞納額…831万2900円

8月31日現在、65万円程度債権の回収ができていく状況。このうち2名については本議会で債権の放棄を上程している。他の滞納者については概ね誓約書の提出をしていた。こまめに請求を行い、回収に努める。

総務課長

村税は令和2年度末の徴収率が96・7%。分割納付の提案が徴収率向上に繋がった。

今後は分割納付の提案に加えて、

特に島内在住の滞納者については金融機関における財産調査を検討中。財産があるものに対しては財産の明示・自主納付を通知し、応じない場合は財産差し押さえの措置を取る。

滞納者の住所が判明し、現在働いている会社宛に所得照会も行った。貴重な財源なので、全庁体制で取り組んでいく。

中原良範議員

滞納金の回収について前向きに進んでいると思う。長期滞納になれば回収が難しくなるが、債権者と話し合い回収を進めていただきたい。死亡者や不明



者の話が出たが、今後同様のケースが増えてくると思う。そのため保証人でもあるので周知徹底していただきたい。財政難ですのでしっかり回収してもらいたい。



山崎晋作議員
竹島地区在住

Q 「民宿への補償について」

コロナの影響による民宿への協力金が10月より減額となるが、金額設定は妥当か。

行政では観光客だけを対象に金額を算定したとのことだが、民宿へ聞き取りしたところ観光客よりも業者宿泊者の影響の方が大きいというところがほとんどだった。

9月に再度聞き取りをしたところ、業者の来島数は戻ってきているとのことだが、コロナ前と比べると厳しい状況で、10月以降の予約がない民宿が半数以上であった。特に観

光客メインであった民宿は影響が大きいとのことだった。

また、民宿ではコロナ対策として相部屋にしないという形で協力されているところもあり、そうすると本来の数分の1しか宿泊者を泊められない。

経営が厳しいなか協力をしてくれているにも関わらず、10月から月額1万7000円はあまりにも補償が少なすぎるのでは。

定住促進課長 民宿事業者の皆様のご協力に対して感謝している。

観光客数は自粛要請前と比べて5%程度まで減少している。協力の金額は来島自粛要請によって損失したであろう利益を目安に算定している。

観光客の過去の実績をもとに算出しており、現時点では金額は妥当であると判断している。

山崎晋作 議員 以前も発言したが、三島村の長所は人口が少ない分きめ細やかな対応ができるところ。

民宿は十数軒しかないのに、1件1件話を聞けば、妥当な金額でないことは半日もあればすぐにわかる。

確かに業者の入り方によって大丈夫だという民宿もある。ただそれは本当に少数で、厳しい状況のところばかり。

役場の聞き取りも私が議会で要望した後、3月か4月に1度だけと聞いている。三島村のPRなども大事だが、前も言った通り、今住んでいる人たちが大事にできない村にいくら移住者呼んでも人口は増えない。コロナに対して積極的に協力してくれている民宿の皆さんに対して行政の対応は不十分。

これも聞き取りをしていたらすぐにわかることだが、民宿の皆さんが不安に思っている点が、見通しが



立たないということ。

行政としても自粛解除の時期を明言することは不可能だと思うが、現状が続くと、予約もとることができず民宿の経営が厳しくなっていく。

村長からもwithコロナで進んでいくことが大事という話があったが、コロナがしばらく続く前提で来島のための条件を明確にするか、それが難しければ現状に見合った補償をするべき。

悠長にしていたら今島で頑張っている民宿が経営できなくなることも

あり得る。早急な対応をお願いする。

定住促進課長 民宿へは補償というか、協力いただいていることに對して協力を払っている。

民宿ごとの損失に応じて支払うべきと考えていたが、根拠となる書類が不十分だったため、観光客数を根拠としてできるだけ早く支給できるように対処した。他の村民に対して十分な説明ができる根拠が必要。

コロナの影響は民宿だけでなく、村民の方々も受けている。影響全般に対する事業継続の支援金や定額給付金といったものについては、別の形で村民全般の事業者も関わってくるので、今回の協力金については観光分野に限っている。

村民全体に対する補償などは財源の問題もあるので、新たに制度を設けるのであれば村民の方々に説明できるような根拠に基づいて検討すべきと考えている。



民宿の聞き取り調査は3月末～4月初に1回行っている。半年経過したのもう一度聞き取りを行う予定。その中で根拠を示せるものがあればまた検討したい。

民生課長 政府はワクチン接種の進展を前提に行動制限を緩和する基本方針を打ち出している。実証試験を11月から広域で行うことも発表している。一方、基本的な感染対策を維持することを前提としているが、国民の気が緩んで再び感染拡大を招きかねないという意見もある。

本村も感染状況や国の試験の結果を注視しながら、社会経済活動の正常化に向けて検討していく必要があると思っている。

しかし、本村の医療体制は脆弱で県本土とは比較にならない環境なので、PCR検査やワクチン接種の確認などの条件を設定した上で、徐々に規制を緩和していくことが必要かと思っているが、慎重に検討して進めたい。

山崎晋作議員 民宿の補償については、定住促進課長が言われたように月毎の売上などを根拠にできたらよいが、聞き取りの中でそれが困難である事業者さんがおり、難しいところだと感じた。

問題なのは、観光客に限定しているが、実際には業者の影響が大きいく、その算出の誤差が大きいこと。観光客数だけカウントして根拠としているが、全来島者数を対象にして算出するのが分かりやすいのでは。

行政が主張するように業者の影響が少ないなら今の算出額と差が出ないはずで、影響が大きければ差があらわれる。その上で本来なら民宿ごとに対応ができればいいが、難しいところもあると思う。

せめて島ごとの対応はできるので。島ごとの来島者数の減少から算出して、支給額を島ごとに決めれば今より実情にあった対応になる。

見通しについては難しい問題なので、国・県の動向を見ながら徐々に対応していただくのがいいと思う。

定住促進課長 説明できる根拠を準備して住民説明を行いながら進めたい。緊急的な対応は難しいが、確定申告など集計できる材料も増えてきている。

ただ、村民全員が色々な面で影響を受けているので、民宿事業者だけに偏らず、全体的なところも考

えながら財源も含めて検討したい。

Q 「辺地総合整備計画の進捗状況について」

竹島のがソリンスタンド建設中止と避難所兼保育所の建設を要望していた件の進捗状況を教えて欲しい。

前回の議会では規定の回数内で明確な回答が得られなかったので再度質問する。



この件の経緯は、以下の通り

① ガソリンスタンド協議会で島民アンケートを実施

● 報告では三島村全体の賛成と反対がほぼ同数、ほんの微差で賛成が多かった。

② 令和元年11月～令和2年2月

- アンケート結果を詳しく見ると『価格が上がらなければ賛成』という意見が多数
- 計画では3島とも価格が上昇する
- 価格上昇という条件を加えると、賛成は2割ちよつと、7割以上が反対（※ 島民が反対している事業を無理矢理進めている）
- 特に反対の多かった竹島は建設を保留

③ 令和3年3月

- 辺地総合計画で竹島へのガソリンスタンド建設が明記
- 議会でも質疑したところ、意見があれば随時変更可能なので言っただけとの答弁

③ 令和3年6月

● 島民アンケートを独自で実施し、ガソリンスタンドには反対、代わりに避難所兼保育所の建設を望む声が多いことを議会に伝える

● 時期は未定だが島民アンケートを実施し検討するとの答弁（元々の予定であり、こちらの要望に対応したわけではない）

④ 令和3年9月

● 三島村過疎地域持続的発展計画内で、全地域へのガソリンスタンド設置の記載

一連の流れがあまりにも横暴。

議会で発言した内容に対して、「1人の意見じゃ決められないから地区長に聞いてみる、アンケートをしてみる」という答弁が度々あるが、そもそも議員は選挙で選ばれた住民の代表であるので、こういった発言は不適切。

こちらが島民の声を聞いてほしいと言っているとは意味が違ってくる。議員の議会内での発言は島民の代表の声ということを確認して欲しい。

その上で発言内容が三島村のためになるかどうかは議論すべき。

議会場で誤魔化すための軽はずみな答弁や不誠実な答弁は控えていただきたい。そして質問回数に限られているので、適切な回答をお願いする。

定住促進課長 竹島のカソリンスタンド建設については、硫黄島と黒島で実際に運営を開始してからの状況などをもとに再度竹島の住民の方々に意見を聞いて整備の可否を判断したいと考えている。

保育所整備に関しては民生課の方で検討を行っており、具体的の方針が決まってから辺地計画に追加したいと考えている。

なお、別の有利な制度である過疎債での活用も想定して過疎計画の中にも盛り込んでいる。



山崎晋作 議員 協議会では賛成多数だから進めたわけだが、竹島、実際は硫黄島と黒島も反対が多かった。その状況でもそもそ計画に組み込む必要があるのか。

三島村過疎地域持続的発展計画でも質疑させていただいたが、辺地総合計画は意見があれば随時変更が可能という答弁を受けてこちらも動いているので、それなりの対応をお願いする。

定住促進課長 辺地計画については、建設するかどうかは別として財源を幅広く準備するために盛り込んでいる。計画にあるから作るという判断はしていないのでご理解いただきたい。

辺地計画からの削除する手続きはこれまでも行っていないので、今後も考えていない。保育所については具体的に決まってきたらちゃんと組み込み、財源確保に努めたい。

過疎計画についても、幅広く財源を確保するためにどの自治体もいろんな事業を入れてある。世の中の変化に対応できるようにしてある。

環境問題、住民の安全、安心、防災、保安面など総合的に計画の中に入れてあるので、住民や議員の意見を聴きながら慎重に進めたいと考えている。



山田和広 議員
片泊地区在住

Q 「ネット回線の維持について」

インターネット回線が開設されてから10年以上経って、施設の老朽化が進んでいる。

部品など高価なものが多く、維持に費用がかさむと思う。しかし、インターネットは生活の一部となっている。今後どう維持していくのか伺いたい。

総務課長 ご指摘の通り、10年経過し機器の更新などの時期に来ている。

しかし本村は公設公営のため国の補助金対象となっていない。民間が運営する場合は補助金の対象となるため民間譲渡を模索しているが、業者が見つからない。

安定した回線を維持するため、電算の職員、システム会社と協議を重ね、交換する機器を最小限に抑えながら運営している。

広報もしまにも掲載したが、本年度から新たに光回線維持管理経費について国庫補助金が交付される。年度によって異なるが、約2000万〜3000万円の1/2を補助してもらえる。

当分はこの財源を基に機器の更新などを進めていきたい。

山田和広 議員 インターネットが使えなくなると他の取り組みにも影響を与えるので、引き続き財源確保などに努力して欲しい。

現在島内では当たり前のようにインターネットを使っているが、村のおかげで安く回線を使用できていると思う。今後維持のために出費が必要なのであれば、前もって住民に協力を求めるのも一つの手なのでは。

維持できなくなってからでは遅いので、その前に手を打っていただきたい。

総務課長 維持費の住民負担というのがあるが、たい意見。

現在光の回線をNTTに貸し出しているが、別の業者にも貸し出すプロジェクトを協議中。貸出金額はまだ決まっていないが、相応のいい金額で契約ができるよう着実に進めていく。

山田和広 議員 トカラ列島には産物や情報をネットを使って発送・配信して収入を得ているというのを見た。焼酎もそうだが、ネットを活用した収益についても考えていくのもありでは。

村長 機器の更新には数億円が必要。公設公営が補助金対象外というのをおかしいのではと国とやりとりしているが、制度上非常に厳しいと説明を受けている。

借金するしかないという話もあるが、借金できる金額にも限度がある。借金が増えたと財政経営も厳しくなり国の指導を受けることになる。



他の離島の自治体は地方創生臨時交付金という制度で光回線を整備しているので、総括する内閣府と交渉していると考えている。

ハードルは高いが、しっかりと対応しなければ大変なことになるという危機意識を持っているので、しっかりと汗をかき、活発に活動しながらなんとかして財源確保したい。

Q 「コロナ対策について」

終息が見えない中、3回目のワクチン接種が検討されているという情報もあるが、本村は3回目のワクチン接種についてどう考えているか。

民生課長 厚生労働省が9月17日に3回目の追加接種を行うことを了承している。

2回接種をしても時間経過とともに感染を防ぐ抗体の量が減ることに加え、ワクチンが効きにくい新たな変異ウイルスの出現に備える狙いがある。

2回目と同じワクチンを使うことが基本で、2回目から8ヶ月以上空ける方向で、具体的な対象者や開始時期は今後明確にされると考えている。村は国の方針に従い、接種を行う予定。

5月6月の一斉摂取では副反応対策として医師の滞在期間が長くなるよう調整したが、医療人材の確保に苦慮した。
3回目は特別配船による短期間での実施も視野に入れ検討したい。

山田和広 議員 住民や役場職員の方々の努力の成果もあり、本村は1件も感染者がないという喜ばしい状況。

今は減少してまた緩和される状況下だが、0になることはないと言われる中で、本村は迅速な対応でありたい。

ただ、副反応などを危惧して1回目の接種も受けていない方が本村にもいると聞いている。実際、ワクチン接種は命を守る1番の早道だと思うので、社会状況などを考慮して、何が1番いいのかを考えながら進めて欲しい。

民生課長 現在全国的に感染者が減少しているが、要因は不明な部分が多い。

しかし、ワクチン接種が進んだことは確かな要因の一つだと言われている。

3回目に当たって副反応に対しての不安もあると思うが、国の情報を迅速に提供し、住民の皆様が安全に、納得した上で接種できるように努めたい。



編集・構成

議長 長濱義人
議員 山崎晋作

編集・構成

デザイン
棚次理

協力

議員 中原良範
議員 日高重行
議員 谷口伸二
議員 山田和広

発行

鹿児島県三島村議会
〒892-0821
鹿児島県鹿児島市名山町12番18号